事例No.	2792
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	岡山県総社市

事例区分	行政改革

タグ	・福祉・介護 ・人材確保・育成 ・組織改革

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

人口増加の背景となった施策～あなたにとって一番やさしいまち“そうじゃ”の実現～

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



人口増加の背景となった施策～あなたにとって一番やさしいまち“そうじゃ”の実現～

岡山県総社市（そうじゃし）

DATA

事　　例　名：障がい者千五百人雇用
所　　在　地：岡山県総社市中央一丁目1-1
連　　絡　先：TEL 0866-92-8213
　　FAX 0866-93-9479
　　E-mail seisaku@city.soja.okayama.jp
ホームページ：https://www.city.soja.okayama.jp/

取組の概要

総社市が目指すもの。それは、障がい者(児)のライフステージの一貫した支援である。
乳幼児期・就学期には「就学前・就学時における移行及び相談支援」、青年壮年期(就労期)には「障がい者千五百人雇用の実現」、高齢期には「親亡き後を見据えた支援」を行い、障がい者一人ひとりが自立し、安心して地域で暮らせる社会の実現に向け、取り組んでいる。

評価された点

●障がい者1,264人の雇用につながっているモデルケースである。子育て、交通、健康などといった多角的な取り組みとあわせて、人口増加、暮らしの質の向上も図っている点など素晴らしい取り組みである。
●「ゆりかごから高齢まで」を実践して社会増を達成している。「赤ちゃんの駅」に始まり、元気に暮らせるまちづくりを総合的にプロデュースしている点が特徴的で、他自治体の参考となる取り組みである。
●就労支援に特化することで街全体が取り組みを理解し、小さくても充実した「分け隔てのない社会」を実現している。障がいを持った方だけでなくお年寄りや子供などそれぞれの生きがいをサポートできる日本一優しい街になることを期待。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ
リーマンショックにより市内で2,000人以上が職を失うという大打撃。有効求人倍率は過去最低の0.29倍。
こんなときこそ支援すべきは障がい者!!

・特別支援学校を卒業した後の働く場所は、総社市が担うという強い決意。

2011年～
「就労支援ルーム」を設置
・「障がい者千人雇用」を開始(平成27年度末までの5ヵ年計画)。
・ハローワーク、企業関係者などで組織する。



・障害者就業・生活支援センターがない総社市に、それと同等の機能を持ったものを立ち上げたい。

2011年～
「障がい者千人雇用推進条例」を制定
（2017年～障がい者千五百人雇用推進条例）
・市・市民・企業の役割を明文化した理念条例。

・社会福祉協議会と連携。

2012年～
「障がい者千人雇用センター」を設置
（2017年～障がい者千五百人雇用センター）
・マッチングの実働部隊としてきめ細やかな支援を実施。
・企業など就労先へのアフターケアも行う。



2014年～
就労移行支援制度の創設
・福祉的就労から一般就労へ移行し、6カ月以上経過した方に10万円を支給する独自施策の実施。



2017年5月
障がい者千人雇用達成



2017年～
「障がい者千五百人雇用」事業として再スタート
・目標数値を1,500人に設定。条例を改正し、障がい者が安心して活躍できる地域づくりを一層推進する。

今後の展望
・総社市外の圏域への波及。
・障がい者の生活の質の向上。
・課題やニーズに対して適切な支援。

→ **千五百人雇用達成**

受賞者のコメント

「あなたにとって一番やさしいまちそうじゃ」の実現を目指す中で一番大切にしている施策のひとつが「障がい者千五百人雇用」です。平成23年に事業をスタートして以降「障がい者の一生に責任を持ちます！」をモットーに、障がい者に徹底的に寄り添う、心を通わせた支援を全力で実践しています。
今後は、障がい者の生活の質の向上。つまり、一人ひとりが生きがいや誇りを持てる社会の実現を目指して果敢に挑戦を続け、この取り組みを全国にも広げていきたいと考えています。